

JID

NEWS

社団法人 日本インテリアデザイナー協会月報

1990 1・2

1990年を迎えて

理事長 渡辺 優

いよいよ90年代に入りました。会員の皆様も、新しい抱負の中で新春を迎えられたことと思います。

昨年はデザイナー、JIDの30周年記念事業など何かと忙しく、にぎやかな年でしたが、会員の方々のご協力によって、予想以上の活動ができたことを厚くお礼申し上げます。中には事業計画の方が、協会の対応能力より先行して、少し息切れをしたり、混乱を生じた面もありましたが、それも貴重な経験として、今後の活動に生かしたいと考えております。

今年は本部事務局の移転、役員改選による交替などもあり、新しい心構えでJIDの活動を進展させなければなりません。事業推進を支部中心とすることや、そのための組織づくり、予算配分というようなことが当面の課題になっています。また世の中のインテリアへの関心の高まりや、国際化の動きなどに応じる力を強化する意味から、会員拡大をはじめとして、強い発言力をもつ組織にすることが期待されています。

このように考えていくと、記念事業が終わったからといって、息を抜くことはできそうにありません。JIDは全会員によって運営される組織です。協力し合って、より高度な成果が得られるようにしようではありませんか。

目 次

●1990年を迎えて……………	1
●平成2～3年度役員選挙開票結果……………	2
●本部事務局移転のお知らせ……………	2
●創立30周年記念事業の動きー7ー……………	3
●展覧会東京展第一会場閉幕……………	3
●記念事業基金募集その後の報告とお願い……………	3
●1989・第4回理事会議事録……………	4
●委員会の動き……………	7
●新春交礼会華やかに開催……………	7
●ジャパンテックス'90の報告……………	8
●会員拡充キャンペーン継続にご協力を……………	9
●「スカンジナビア家具展」のご案内……………	9
●野口 茂先生逝く……………	10
●会員の消息……………	11
●新入会員の紹介……………	14
●会員の異動……………	17
●賛助会員ニュース……………	19
●事務局短針……………	20

平成2～3年度役員選挙開票結果

選挙管理委員長 野村禮七郎

平成2～3年度の開票は、去る1月10日午後1時から事務局において行ないました。その概略は下記のとおりです。

記

1. 出席委員

野村禮七郎（委員長）、工藤 広忠（副委員長）、
松島由美子、丹治亜子（以上準会員）
伊藤 公子、朝妻 昭子、田中作弥子、片岡美恵子
（以上事務局）

2. 開票状況

有権者数 602人（過半数302票）
投票数 311票（投票率51.7%）
内訳 有効投票 理事 309票、監事 308票
無効投票 理事 2票、監事 3票

(注) 無効の内容

定数以上を記入したもの 理事1票、監事2票
投票用紙を使用していないもの 各1票

3. 開票結果（得票順）

A-1 理事（関東）

川上 信二（140票）、長岡 貞夫（121票）
渡辺 優（117票）、中村 圭介（116票）
森谷 延周（111票）、白石 勝彦（106票）
山品 元（88票）、山本 棟子（87票）
泉 修二（80票）、三輪 正弘（73票）
以上定数10名

次点 清水 忠男（56票）、大野美代子（48票）

A-2 理事（関西）

川崎 浩（57票）、栢原 秀栄（54票）
富田 卓司（44票） 以上定数3名
次点 山内 陸平（34票）

A-3 理事（九州）

中川 千年（61票） 以上定数1名
次点 坂下 晶（8票）

A-4 理事（中部）

宇賀 敏夫（62票） 以上定数1名
次点 林 寅正（33票）

B-1 監事（関東）

榎田 均（37票） 以上定数1名
次点 長 大作（11票）

B-2 監事（関西、九州、中部）

樋口 治（19票） 以上定数1名
次点 渡辺 敏雄（5票）

4. その他

- (1) 定数（理事15名、監事2名）を1名でも超えると無効になります。ご注意ください。
- (2) 投票率が前回、前々回に比べ2%低下しています。定数内であればたとえ1名の方を投票しても有効です。棄権なさらないようにお願いします。
- なお、開票当日は年初のお忙しい中、ご出席いただいた委員の方々に誌上を借りてお礼申し上げます。

本部事務局移転のお知らせ

前号で会員各位にお心当たりの場所をお願いしていましたが、このたび、昭和48年より17年の長い間本部事務局を置いた「神宮前建築家会館」を離れ、同じ渋谷区内の「恵比寿南」に移転することになりました。新事務所はJ R山手線「恵比寿駅西口」より徒歩6分、地下鉄日比谷線「恵比寿駅」にも近く、東急バス「防衛庁技術研究所前」バス停前の新築ビルです。J I Dも1990年を迎え、新しい目標に向けてのスタートをきる年なので、新J I Dにふさわしい事務局を目指しております。移転日、新住所などは下記の通りです。

移 転 日 1990年3月2～3日
業務開始日 1990年3月5日
新 住 所 東京都渋谷区恵比寿南2-13-14
茶屋坂T&Kビル 3階
〒150
新電話番号 03-5704-3421 (代)
F A X 番号 03-5704-3423

◎電話及びF A X番号の市内局番が4桁になりましたのでお間違えなく。

（本部事務局）

至渋谷

茗荷谷駅

地下鉄 茗荷谷駅

茗荷坂

茗荷坂通

三井銀行

茗茶銀座 浜仲

カルビスフーズ

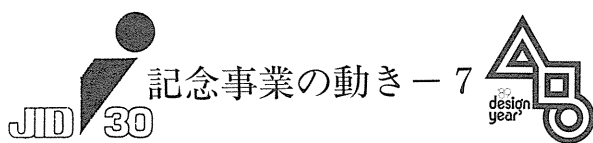
石や

正門

防衛庁 技術研究所

JID (茶屋坂 T & K ビル)

山手線 至品川



’88年11月より14ヶ月に渉り繰り広げられて来ましたが、この記念事業も、今回の報告では、その役割りを終えるところまで来ました。ご協力いただきました会員、関係各位の皆様方には心より感謝いたします。事業開始に先立つ箱根フォーラムでのディスカッションにはじまり、メインテーマ“ながれ”21世紀へむけて生活環境創造への潮流と題した趣意書が理事会で承認されて実際にスタートしたのですが、5つの事業、13件もの行事は端的にいうと荷の重い計画でした。記念事業委員会の中に推進役として設けられた常任委員会は、各行事の横の調整を一番の仕事として合計38回もの会議を開くことになってしまいました。それでもメインテーマ“ながれ”の根源的な理解と具現という点では、いま振り返ってみても充分ではなかったようです。これはひとえに実行委員長の責任でもあります。このテーマはこの事業のあとの力強いJ I Dづくりのためには、事業にかゝわっていたべきでした皆様方の努力と成果を糧として、大いなる反省をテコに議論し合う課題であるように思います。

らの報告書をもとに発行されます。また、この事業での建設的なご意見、反省点などは常任委員会の最終的な仕事として、いま皆様方からお送り戴くよう手配中です。とままり次第、何らかの方法でお配りし、今後の資料として残していきたいと思います。

東京展第一会場閉幕

展覧会東京展は、皆様の御協力が無事終了しましたことを、お礼申し上げます。

思えば全国巡回パネル「J I D 30年史等」の製作にかかったのは、昨年3月のこと、全国初スタートの九州支部展覧会に間に合わせるためでした。その間、諸先輩の業績や時代の流れを再確認し、井上・石井両氏と資料集収・調査に当たったのです。

その他の第一会場展示（イベント・協会員及び学生パネル展示）も各担当者の熱意で、多くの方々の参加を求め、盛況に終わることができました。

J I Dを一般の方々に認知してもらう為の場所設定を銀座にし、歩行者天国を生かしたパフォーマンスイベントも好評で、目的は十分達せられたものと確信いたします。J I D内部の結集、外部への投げかけ、将来期待される学生参加とまさに東京の中心で行うに相応しい48日間でした。これを機会に我々J I Dの役割と各自の社会への使命を改めて確認し、将来向うべき方向を模索したいものです。

JID30記念事業基金その後の報告 とお願い

J I D 30記念事業も数多くの成果を上げつつ、成功裡に終了いたしました。J I D30記念事業基金も会員有志の暖かいご支援により、当初の目標を上回る金額をお寄せ頂き、本当に有難うございました。この事業の成功は、基金をお寄せ頂いた皆様のお陰と関係者一同感謝致しております。事業は昨年末で終了致しましたが、財政はなお厳しい状況です。未だお寄せ頂いてない方は3月末日

迄募集していますのでよろしくお願いいたします。

前号に引き続き次の方々から基金をお寄せ頂きましたのでご報告いたします。

●正会員

3口(3万円) まなべみどり

2口(2万円) 岩本 勝之

1口(1万円) 笠松 栄, 小玉 靖子
石井 静香, 下島 資子

●会員外

伊藤 公子, 朝妻 昭子

総合計 599.4万円(1990.2.6 現在)

以 上

1989・第4回理事会議事録

1. 日 時 平成元年12月1日(金) 13:30~16:50
2. 場 所 全郵政会館 B F会議室
東京都渋谷区千駄谷1-20-6
3. 出席者 (別掲の通り)
4. 議 題

I, 議 案

第1号議案 事業の推進について

第2号議案 本部事務所賃貸借契約解約申し入れ
対応について

第3号議案 除名対象者等について

第4号議案 後援・協賛名義承認の件

第5号議案 入会承認の件

第6号議案 議事録署名人選任について

5. 議 事

はじめに議事につき、議長として渡辺理事長より説明あり、議事進行につき協力が求められた。

これに先立ち野村事務局長より「理事総数15名中出席理事15名(本人出席11名, 委任状4名)で本理事会は成立した」旨、定数報告がなされた。

第1号議案 事業の推進について

議長は、各事業の推進状況について各担当理事に説明を求めた。担当理事が欠席の事業については代って議長及び事務局長が説明した。

＜選考委員会＞ 渡辺議長

- 1) 東京展の学生インテリアデザイン優秀作品展の選考を第1会場で行ない、最優秀作品5点を選考、11

月20日に第2会場のオープニングパーティで表彰した。

- 2) 工芸財団の國井喜太郎賞については、各委員に文書で候補作品の推薦を依頼し、11月20日頃委員会を開き、J I Dからの推薦作品を決定する予定。

＜総務委員会＞ 森谷理事

- 1) 前回の理事会で検討済の「後援・協賛に関する細則」の事務局修正点を再確認した。
- 2) 「J I Dの諸問題に対する理事会の考え方」のJ I Dニュース掲載に伴う報告及び校正作業を行った。
- 3) 「J I D報酬基準」への改訂点などの検討に対する準備をスタートした。

＜財務委員会＞ 森谷理事

- 1) J I D30基金募集は、会員の多大な協力により、目標額を230万円上廻った。('89. 10. 1 現在)
なお、引き続き募金をお願い中。

＜組織委員会＞ 森谷理事

- 1) '89臨時理事会('89. 8. 28)から付託された入会審査に伴う「推薦人の基準」について9月13日討議した。結果、新たな基準を設けずに現行の審査を充分尽くすこと、性急に承認したり、推薦人の意向を第一とすることはさけること等の結論を得た。
- 2) 「会員拡充」に関する討議及び方策について

9月13日、10月9日、11月22日に委員会を開催し、前年度のキャンペーンで入会の意志のあった人に再度呼びかけを行なう。インテリアコーディネーター1,100人への入会勧誘、教育に係るJ I D会員をリストアップし、入会勧誘をお願いする。インテリア関連有力企業・商社へのアプローチを行ない、賛助会員入会を勧誘する等を決めた。

＜交流委員会＞ 事務局長

- 1) 10月14日J I A関東支部、J I D関東支部と共催でJ I D協会賞等を受賞した「東京サレジオ学園」の見学会を開催、J I D90名、J I A 190名の参加者があった。

- 2) 諸般の事情で昨年開催されなかった新春交礼会を来る1月27日(土) 東京青山で開催することを決めた。

＜出版委員会＞ 泉理事

「インテリアデザイン」110号1,200部を10月20日に発行、一部訂正し300部を増刷する予定。111

号は J I D30事業の記録号として1月末日頃に発行する予定。

＜広報委員会＞ 泉理事

予算との関係で、展覧会等について側面的に支援する形で協力した。J I D30事業完了に伴ない、プレス関係に対し成果報告を行なう予定。

＜研究委員会＞ 大野理事

「リゾート施設のインテリア」、「シルバー社会のインテリア」の両研究会とも、3月末に報告書完成を目指して現在研究活動を続行中。

＜教育委員会＞ 大野理事

12月末に委員会を開き、今後の活動目標につき話し合う予定。

＜インテリアマップ委員会＞ 野村事務局長

委員及び会員各位の協力により11月20日に12,000部を発行した。1部訂正箇所について現在正誤表を作成中で、12月初旬に会員に配布する予定。

＜共同事業委員会＞ 渡辺議長

1) 11月22日より26日迄の5日間、晴海で開催された国際家具見本市会場で、フォールディングファニチュア170種、270種を集めた「フォールディングファニチュア展」の開催に協力した。入場者も多く、好評であった。

2) 明年2月1日より開催されるJAPANTEX に対する協力について去る11月30日委員会を開き委員の分担等を決め、推進中。

＜世界デザイン博覧会＞ 宇賀理事

7月15日より165日間にわたり開催された世界デザイン博覧会も去る11月25日閉幕した。入場者数150万人を突破し、大成功をおさめた。なお、この委員会は本年度で自動的に解消される。

＜関東事業支部＞ 中村理事

東京展第二会場で11月20日オープニングパーティを主催した他は、交流委員会、国際委員会、展覧会委員会と共催という形で活動した。

＜記念事業委員会＞ 川上委員長

J I D30事業も東京展の一部を残し、13の行事がすべて終了する。協力していただいた全会員は基より関係諸機関、諸団体、諸企業の協力により全体的には成功をおさめた。

いろいろ反省点もあるが、この記念事業を契機と

してこれからのJ I Dの発展の方向づけに生かしていきたい。

展覧会委員会

去る10月19日より開催した「展覧会東京展」第1会場は来る12月5日に45日間の幕を閉じる。一方、第2会場は11月20日に開幕し、同月26日に閉幕した。

東京展の収支予想は支出が収入を上廻っているの
でこれを縮少すべく展覧会委員会および関東事業支部で対策を推進中である。

報告内容は別紙の通り。

以上で事業の推進状況の説明は終了した。

なお、議長より「展覧会東京展」の収支状況について「当初予算との差異が大きく、このまゝでは理事会としても承認し難い。これまでの経緯と赤字縮少の対策および結果を次回理事会に文書で報告すること。又会員拡充については現在組織委員会で推進中であるが、同委員会を中心に、各事業支部との連繫を保ちながら早急に推進してはどうか」との発言があった。

議長は事業の推進状況及び上記について理事会の了承を求めた。理事会はこれを了承した。

第2号議案 本部事務所賃貸借契約解約申入れ対応について

議長はこの件につき事務局長に説明を求めた。事務局長は、「平成元年10月19日付、(株)建築家会館より賃貸借契約書第4条に基づき(期間内解約)の申入れがあった。これによると平成2年4月18日迄に移転先を見付けなければならない」旨、説明した。

これに対し、議長から「未だ契約期間を残しているが、契約条項による期間内解約の申入れなので受けざるを得ない。移転先について関東地区の会員にJ I Dニュース等を通じて協力を呼びかける。建築家会館との折衝については山品理事に支援をお願いしたい」旨、述べられ、理事会はこれを了承した。

第3号議案 除名対象者等について

議長は平成元年11月末日をもって下記の者を除名および資格消滅されるものとし理事会に諮った。理事会はいづれも異議なく承認した。

A、除名対象者(会員規定の条項による)

正会員氏名	支 部	入 会 年 月	未納会費
小林 真	関 東	昭和49年3月	¥ 72,000
早川 高	中 部	昭和56年1月	¥ 72,000

B, 資格変更非手続者（資格消滅）

準会員氏名	支 部	入 会 年 月	未納会費
黒沢三智夫	関 西	昭和46年 6 月	¥ 20,000

第4号議案 後援・協賛名議承認の件

議長は次の8件について事務局長に説明を求めた。
事務局長は資料に基づき説明を行ない、実施予定について説明した。議長は次の8件につき承認を諮った結果、理事会はこれを異議なく承認した。

- ・デザインイヤーフェスティバルインカナガワ <協賛>
主催 神奈川県
(1990. 1. 27 ~ 2. 1 横浜)
- ・壁装セミナー「消費者動向とインテリアビジネスの流れについての勉強会」 <協賛>
主催 壁装材料協会
(1989. 11. 13 東京)
- ・“リフレッシュ・ハウジングフェア'90” <協賛>
主催 大阪ハウジングフェア運営会
(1990. 4. 25 ~ 5. 1 大阪)
- ・NIF取引近代化推進事業 <協賛>
「インテリアファッションセミナー」
主催 日本インテリアファブリックス協会
(1989. 12. 12 東京)
- ・「君は明日のデザイナー」展 <後援>
主催 神奈川県デザイン団体連絡協議会
(1990. 3. 27 ~ 31 横浜)
- ・セミナー「近未来のオフィス」 <協賛>
主催 生理人類学会・ニューオフィス推進協議会
(1990. 1. 25 ~ 26 東京)
- ・「エッソーレ・ソットサス照明デザイン展」
並びに講演会 <後援>
主催 (財)山際照明造形美術振興会
(展覧会 1990. 4. 3 ~ 28 東京)
(講演会 1990. 4. 5)
- ・インテリアプランニング賞'90 <協賛>
主催 (財)建築技術教育普及センター
(応募期間 1990. 1. 16 ~ 2. 17 東京)
(入選発表 1990. 4 月中旬)
(表彰 1990. 4 月下旬)

第5号議案 入会承認の件（7件）

議長は下記7件について内容の概要説明を求めた。
事務局長は資料に基づき説明した。理事会はそれぞれの資料の審議を行った。結果、いずれも異議なく承認した。

●正会員（5件）

氏 名	種 別	保 証 推 薦 者
篠 原 博 文	正会員	中村 圭介・関口 英子
美 濃 吉 昭	〃	川崎 浩・富田 卓司
福 沢 雄 二	〃	岩倉 榮利・根本 恵司
藤 田 信一郎	〃	奥村 考晟・森谷 延周
前 田 捷 美	〃	藤川 宏允・川崎 浩

●賛助会員（2件）

名 称	種 別	紹 介 者
(株)ナショナルトレーディング ハンターダグラス ウィンドウファッショ(株)	賛助会員 〃	斎藤 武行 渡辺 優

第6号議案 議事録署名人選任について

議長は議事録署名人に泉修二・宇賀敏夫両理事の選任を提案し、承認を諮った。

異議なく承認された。

(社)日本インテリアデザイナー協会1989・第4回理事会に関し、定款第28条の定めるところにもとづき、議事経過の要領および議決事項を記すため、議長と議事録署名人がここに記名捺印する。

議 長 渡 辺 優 ㊟
議事録署名人 泉 修 二 ㊟
議事録署名人 宇 賀 敏 夫 ㊟

1989・第4回理事会出席者

渡辺 優, 川上 信二, 中村 圭介, 富田 卓司 宇賀 敏夫, 山内 陸平, 川崎 浩, 大野美代子 森谷 延周, 山品 元, 泉 修二
理事総数15名中理事15名（本人11名, 委任状4名）
監事 榎田 均
事務局長 野村 七郎

（敬称略・順不同）

6. II, 報告事項

① 後援・協賛名義に関する細則について

議長はこの細則は前回の理事会で討議し、一部修

正したものを事務局長が字句、内容の整備を行ない
総務委員会で取りまとめたものである旨発表し、補
足説明を森谷理事および事務局長が行なった。

② 平成元年度ブロック別デザイン会議について

平成元年度デザイン開発指導連絡協議会が全国各
通産局別に開催された。議題及び各地の開催日、並
びに出席者について事務局長より報告があった。

ブロック別開催日及び出席者

10月24日 北海道通産局 山本信会員

11月7日 中 部通産局 中村事務局員

11月10日 関 東通産局 白石理事、野村事務局長

11月15日 関 西通産局 栢原関西支部長

11月15日 九 州通産局 坂下九州支部長

③ 訃 報

協会の設立に尽力された名誉会員中西三郎氏が去
る11月7日逝去された。享年76歳。

謹んでご冥福をお祈りする。

④ その他

本部事務局の年末年始スケジュール

年内業務 12月27日(水) まで

新年業務 1月8日(月) より

以上事務局長より報告があった。

理事会は報告事項④及び④についてこれを了承した。

次回理事会は1月27日(土)、東京開催の予定。

以 上

委員会の動き

新春交礼会華やかに開催

平成2年の新春交礼会が、1月27日(土)、北青山のT
EPIAビル4階ホールで開催されました。"メロディラ
ンド"の女性による弦楽四重奏団の新春にふさわしい曲
が奏でられる中、午後6:30開場、ご来賓、及び会員各
位の方々が入場され、午後7:00より交流委員会の長谷
川隆之副委員長の司会で次第がすすめられました。先ず
山本棟子委員長の開会の辞に始まり、渡辺優理事長の新
年のご挨拶、30周年記念事業行事無事終了の各方面への
御礼と労い、及び今後の活動への期待の言葉がありまし
た。次いで賛助会員、住江織物(株)の木本和弘取締役の

ご挨拶、引き続きご来賓の財)日本 産業デザイン振興会理
事長の小林健夫氏から、内外のデザインに対する関心が極
めて高まる中でのJIDの役割の重要性や、相互協力体
制を強調されるご挨拶を頂きました。乾杯は、名誉会員
の加集喜雄氏にお願いし、目出たく新年のスタートの祝
杯を高らかに上げました。

今回の会場となったTEPIAビルは、JIDニュース
前号の予告にもご案内申し上げましたが、皆様ご存知の
現在注目の建築家、槇文彦氏の最近作のひとつでありま
す。会場ホールのインテリアは、グレーを基調としたモノ
クラマティックな色彩が床壁面に程よくデザインされ
たパターンと相まって落ち着いたシンプルステートであり
ます。その空間に、おさえたピンク系のテーブルクロス
の円形テーブルがそこそこに配され、華やいだ雰囲気
を醸し出しておりました。乾杯に続いての歓談は、久し
ぶりのお仲間との再会に交流の輪を拡げた会員も多かつ
たのではないかと思います。

宴もたけなわの頃、野村禮七郎事務局長より1988・
1989年度の新入会員のご紹介があり、賛助会員5社の代
表者、正会員25名、それぞれの方々のお顔見せとなりま
した。楽しい時間の流れは早く、そのあと白石勝彦担当
理事の閉会の辞となり、ご参集御礼のご挨拶があり、モ
ーツァルトのクワルテットが流れる中、午後9:00散会
となりました。

本年は2年ぶりの新春交礼会となったわけでありま
すが、JIDも創立30周年を経て、成熟の域にあり、21世
紀に向けて更に発展してゆくことを予感させられる会
でありました。この会を楽しみ有意義なものとして下さ
った会員各位に深く感謝申し上げます。

ちなみに今回の総出席者数は125名でありました。

(交流委員会 金子 浩子)



弦楽四重奏団の隣で挨拶する渡辺理事長



’90年の幕明けにふさわしいパーティー会場

ジャパンテックス, ’90の報告

第3回・日本インテリアテキスタイル作家展

共同事業委員会委員長 三輪 正弘

日本インテリアファブリックス協会とともに主催者に協働する役割を担ってきた「日本インテリアテキスタイル作家展実行委員会」の委員長をお引き受けし、第3回目の作家展を無事に完了することができてほっとしているところです。

第1回は手さぐりで第2回はその踏襲ということでやってきた同展は、基本的には実行委員会の合議によってノミネートした作家達によって、インテリアテキスタイルの分野を開拓する先駆的な役割りを果してきました。

今年度の第3回展も同じ方式で作家を選び成果を年々発展させてきたことは自他ともに認めてよいところです。しかし第3回展を経た今後は、展示の規模の拡大すなわち、出展作家の増員、海外作家の参加を新たに求めて国際化の路線を拓けることなどを考えていかねばならないでしょう。

なによりもだいじなことは、ノミネートという方式が果してよいのか、その反対にすべてを公募制にするのがよいのか、といったことをはっきり俎上にのせていくことでしょう。

栗辻博氏をはじめ、すぐれた作品を出展された19名の作家の業績を高く評価しつつ報告をおわりたいと思います。

HEIMTEXTIL ASIAへの協力

はじめて東洋にメッセをもって登場してきたフランク

フルトのHEIMTEXTIL が、東西交流のメルクマールを果すために、ドーム館の中央に harmony in textile の趣旨によるテーマ展示を催しました。

この中央展示のなかに8つのブースが提供され、そのプロポーザル展示をインテリアデザイナー協会に協力を求められたのです。JIDの窓口担当部門として共同事業委員会が対応することになったときは、すでに出展まで3ヶ月しかない状況でした。そこで、共同事業委員会のなかで協議したうえ、時間的、経済的な制約のなかで引き受けていただけるひとびと8人をメンバーのなかから選び、数次の会合を重ね、またHEIMTEXTIL の事務局との接渉を繰り返して、ようやく harmony in textile の趣旨に沿うようなインスタレーションをつくることができたのです。結果はたいへん好評で、JIDの面目を果すことができましたので、以上要点を報告しておきます。

なお、JAPANTEXX ’90の開催期間中の延入場者数は、主催者側の発表によれば92,875人であったことを付記します。



「インテリアテキスタイル作家展」会場



「HEIMTEXTIL ASIA」会場

会員拡充キャンペーン 継続にご協力を

組織委員会委員長 小坂 希八郎

一昨年のキャンペーンでは皆様のご協力により、約60名の新しいメンバーを得ることができました。しかし、

昨年の30周年記念事業に引き続き、本年には本部事務局の移転と特別の支出が重なってきています。こうした現状ではあっても、協会の活動を盛り上げていくことを忘れてはならず、そのためには財政基盤を確かなものにしなければなりません。

協会の収入は会費が大きなウェートを占めていることは、ゆえに皆様ご存知のことだと思います。この収入のパイを大きくするには会員の拡充が一番重要な方策となります。

ここで、組織委員会では一昨年に引き続き会員の拡充を最重要課題として、それに取り組んでいます。正会員の拡充のためには、より巾広く、新進のインテリアデザイナーにも呼び掛けています。また、賛助会員についても拡充をはかれると考えており、インテリア業界を広く見渡し、賛助会員となって頂けそうな企業のリストを準備しております。一部の人にはすでにお問い合わせしておりますが、会員全員のご協力をぜひ頂きたく、こうしたリストなど事務局に用意してありますので、事務局または組織委員の方へお問い合わせ頂き、また会員拡充となりそのような情報はなんなりとも、お寄せ頂きたくお願いいたします。

「インテリアマップ'90～'91」拡販のお礼とお願い

J I D 30 記念事業の一環として、J I D が企画・監修した「インテリアマップ全国主要都市編」が昨秋婦人画報社から出版され、J I D ニュース前号で会員の皆様に拡販のお願いを「申込ハガキ」同封でお送りしましたが、多数の方からお申込み頂き有難うございました。今回は全国書店でも販売しており、お蔭様で売れ行きも順調のようです。前号でもお願いしましたが学校に関係されている会員の皆様にはショールームガイドとして格好の副教材となりますので、新入学生諸君にご推薦を重ねてお願い致します。お申込みはお電話か F A X でも結構です。

(本部事務局)

「スカンジナビア家具展」のご案内

デンマークのデザインは、世界のインテリアデザイナーのかたたちには、よく知られていますし、もちろん日本のかたがたにも好評を得ています。デンマークのデザイナーは、生活様式にもとずいた機能的なデザインを概念にしており、これが世界的にみとめられ好評を得ています。

とくにデンマークの家具工業会においてもデンマークデザイナーの業績、コントラクト・マーケット用の家具開発等を高く評価しており、ヨーロッパ市場において非常に高い市場性を持っています。

これらのアイデアは、高い品質とデザイン性を要求される日本の市場においても認められています。

デザインを重視した多くのプロジェクトがデンマークの会社で行われており、その有名な例としてコペンハーゲン国際空港をあげることができますし、日本に於いては、デンマークのデザイナーによるゴルフクラブが完成しました。

90年代に於けるデザインの傾向が、デンマーク家具展“Scandinavian Furniture Fair”において見ることができます。

この展示会には、新しいデザインを追求している、コントラスト・マーケット専門の家具業者が多数出展しておりますので、ビジネスチャンスとしては最適だと思います。

デンマーク大使館では、5月9日から13日まで開かれる、このスカンジナビア家具展のツアーを計画しています。

ツアー期間中は、家具及びデザイン関係の会社訪問も予定しております。日本インテリアデザイナー協会メンバーの方々に於かれましては、この機会にぜひ、スカンジナビアのデザインを見ていただきたいと存じます。

詳しいことに付きましては、デンマーク大使館・久本(03-496-3001)までご連絡ください。

去る2月7日、デンマーク大使館柳澤商務担当官が来局、J I D 会員に P R してほしいと、この原稿を頂きました。
(本部事務局)

野口茂先生逝く

野口 茂先生

野口先生が初めて京都工芸繊維大学に講師として来られた時は、ラビットスクーターに跨がり、長い軍靴がピカピカの颯爽たるいで



たちであった様に憶えている。30年以上も前の事である。30歳中端の若々しさで、私達にとっては新しい兄貴分が出来たという思いであった。建築、インテリア、船舶についての話は、殆んど何も知らない吾々学生には実に新鮮で、これから参加するであろうこの世界への窓を開いてもらった様な気がしていた。

そしてそれは、吾々を世に送り出すための責任感としての前奏曲だったのであらうと今思えるのである。

教育に携はる教授のタイプを大きく分けると、学生一人々々の性格、感覚を知った上でのスキンシップの高い教育と、自分の考え方を強く先に述べ、後は俺について来い、というタイプがある様に思う。野口先生は前者のタイプであり、学生や卒業生の面倒見の良さでは定評があった。卒業生の消息や情報を充分把握され、彼らの悩みを聞き、相談に乗る。教育や研究の合間にご自分から忙しさを買われ、それをも一つの課題とされていた様に思う。

浅学にして軽薄な私を非常勤講師に來い、と招かれたのは昭和50年のことであるが、私は小生意気にも、自分の経験を必要とされるのか、それとも大学教育への思いを買って頂いているのかを伺ったことがある。「勿論経験も必要だが、それよりも、若い人の考え方でこれからの学生を見て欲しい」と語られ、喜んでお引き受けして10年以上お手伝いさせて頂いたが、その期間にも改めて先生のリベラルなど人徳の厚さに触れ、感激したものである。

京都工芸繊維大学を定年ご退官後、同学の名誉教授として又、新設の宝塚造形芸術大学の美術学部長として赴任され、その創設準備に又、お忙がしい日々を送られて居た。吾々としては、暫くの間ゆっくりと旅行でもされ、少しはのんびり過ごされることを願っていたのであるが、先生の、又新しい大学での教育に対する真摯な姿勢と、

生来お持ちの生真面目さがそれを許さなかったのであらう。しかし、漸く昨年春、中国デザイン事情の視察を兼ねての旅を企画され、その折の健康診断で病巣が発見されての入院生活となり12月、帰らぬ人となってしまった。この事を思う時、私の心は尋常ではあり得ないのである。

何度となく酒をくみ交しながら学生達と共にデザインを論じた経験は、今では懐かしい思い出となってしまった。そして吾々に望まれた「出藍の誉」をも果たすことが出来ず、同じ青でも、いつまでも青二歳の吾々を、天国で美酒を片手に苦笑されながらも温かく見守って下さっていること、思う。

今は永年御面倒をおかけしたことに心からの感謝を捧げつゝ、野口先生の御霊の安らかなることを唯々祈るのみである。

安永 一典（関西）

野口 茂先生と

野口先生の御容体の変化を聞いたのは先生の授業中の事でした。4日前にお会いした時は、多くは語られませんでしたでしたが来期への期待と今後の大学教育についての積極的なお気持ちとお話であったのに……。残念な事になってしまいました。

今回大学への教育へ一歩足を踏み入れたのも先生のお勧めでありました。何年も前からお会いするごとに、勧められていたのを今回は先生におまかせいたしますと、なぜか断れなかったのが、今にして思えば気になる所です。

講座の第1回目の日に、生徒を御紹介しますからと教室に御一緒させていただき、教壇へ立ったのが最初で最後の共演になってしまいました。先生にとっても最後の教壇になられた事に今思い出せば言葉も出ない気持ちであり、御一緒させて頂いた事を光栄に感じます。

京都工芸繊維大学を名誉教授にて退官、宝塚造形芸術大学へ行かれ大学の創設、デザイン界の人材育成に最後まで指導的な役割をされ、情熱のあるお気持ちが思い出されます。先生とお酒をかわした時もこの情熱に我々はいつも感動しておりました。

先生は几帳面な方であり、常々厳しさをもっておられました。先生の達筆さは皆の知る所であり、先生のお人柄がしのばれます。先生が直筆に書かれた自らの履歴書

の一部を紹介致します。

厳しいがゆえに卒業後の事も多々面倒を見られ、卒業してからよりも一層御指導をお願いした仲間が多く、お宅に、大学に日々人々が集まっておられたようです。私が訪れた時も卒業後の事を心配され気を使っておられました。デザインの仕事にも最後まで情熱的であり、船舶の仕事も御一緒させていただきデザイン論をたたかわしたのが忘れられない思い出になってしまいました。野口先生の情熱に解答を出す間もなく他界された事に卒業生として後輩として仲間として何とも口惜しい限りです。葬儀の日、多くの人々が集まれた事が、先生の巾広い御活躍を讃えているように……。

悲報に接し、人生のはかなさをつくづく痛感し、今後育つ若き生徒共々、ご冥福をお祈りしたいと存じます。

宝塚造形芸術大学 非常勤講師

京都工芸繊維大学 卒業生

ダイシンインテリアデザイン 代表
式田 完(関西)

野口先生直筆

作品業績に就いては昭和17年10月より、昭和23年3月迄(兵役期間を除く)は東京建築設計事務所在職中のものであり、昭和23年10月より、同28年2月迄は宮崎本校工業株式会社の在職中のもの、昭和28年3月より、昭和31年3月迄は関西本工業株式会社(在職中)企業・業務上の従事したものである。昭和31年4月、京都工芸繊維大学に勤務して以後は、全く個人的な活動であり、船舶関係の仕事は主として神戸装飾株式会社、長崎船舶装飾株式会社、依頼のあるものが多い。東京建築事務所在職中の活動の主なものは、日本製鉄株式工場、小田原の国産電気、東武鉄道、富士工場、大阪本社、岩手産業大阪本社、日本セメント工場等、戦前の軍用工場の設計が主であり、何れも建築の意匠関係へデザインとは従事して。デザイン活動としては、陸上諸建築、室内・室外造作、設計、船舶・室内造作、家具装飾の設計、その他、単独の家屋、テラス、照明器具、モダンな等、分類する事が出来る。拙著を通算すると、陸上の建築、室内計画の46件、船舶の室内計画の105件、鉄道の設計の33件、その他、本屋、照明、壁掛、モダンな等、デザインは、意匠であり、件数は145点に及ぶ。デザイン歴は、大抵昭和45年、大学に於て教授昇任迄の期間が多く、以降、職務上、専ら、教壇、各種委員会、また地方自治関係、産業界、デザイン界、役員の審査、他大学の兼任講師等の活動が頻りにあり、デザインの業務活動は抑制され、又周囲の了解の減少の状態となり、静謐化した。

昨年11月初めに名誉会員野口茂先生から事務局宛にお葉書を頂きました。

「本年はデザインイヤーで世界デザイン博やデザイン会議で事務局も多忙で大変だと思えます。私事ですが小生は4月に体調をくずし、入院、現在も入院治療中で今年一溢はかかりそうです。切角のデザインイヤーの諸行事を楽しみにしていましたが残念です。事務局の諸兄のご自愛を祈ります」

(原文のまゝ)

ご病床中にもかかわらず事務局への思いやり溢れたお便りを頂き、お見舞を差し上げる間もなく赴報に接し驚きました。JID会員にも10名余の教え子が在籍しております。

ご葬儀には関西在住の方は基より全国各地から大勢の方がご参列になり盛大な告別式だったと伺っております。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

なお、野口先生は平成元年12月13日付をもって「正四位勲三等旭日中綬章」叙勲の栄に浴されたことを付記致します。

(本部事務局)

会員の消息

今回は去る1月27日に開催された「新春交礼会」ご出欠の通信欄を特集しました。JID会員も、北は北海道から南は九州迄、日本全国にまたがっておられるので、試みに掲載順を郵便番号順にしてみました。その他、故中西三郎名誉会員のご夫人中西美恵子様からのお礼状を掲載しました。なお、お便りを頂いた加藤昌一名誉会員は去る2月4日に急逝されました。ご本人の遺言でご葬儀も行わず、どなたにもお知らせしなかったそうです。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

(本部事務局)

◇橘 悟

常々御無沙汰ばかりで申し訳ありません。皆さんも新年の仕事に向けて大忙しのことと存じます。益々ご健闘されることを念じております。(〒001 関東)

◇中 村 昇

会の皆様、明けましてお目出とうございます。多様化、多元化時代と言われ、21世紀へのカウントダウンが始動しました。どんな文化となるか、社会にするか、私達に問われる年始めかとも思います。心身共に健康で良い仕事をしたいと思えます。皆様のご支援を……ご活躍を……!! (〒005 関東)

◇(株)INAX 東京支店 インテリア課 黒澤 晟二

今後木下に代わり、私が窓口になりますのでよろしく願います。(〒104 賛助会員)

◇吉 住 一 信

’90年代を迎え、益々の御発展と皆様のご健康をお祈り致します。(〒144 関東)

◇松 島 由美子

皆様にお会いしたいのに、この日すでに予定が動かないので出席できません。次回を楽しみに致しております。(〒153 関東)

◇物 部 嘉智子

明けましておめでとうございます。昨年中は御世話さまでした。本年も宣しくお願いいたします。皆様の御健康を御祈りいたします。(〒154 関東)

◇長 大 作

当日先約があり、出席出来ません。私、昨年4月より愛知県立芸術大学美術学部デザイン科の客員教授となり、月2回名古屋に通っております。この歳になって初めての「先生稼業」に何かと戸惑いながら、学内生活にもいくらか馴れてきた今日この頃です。(〒156 関東)

◇鈴 木 恭二郎

委員の皆様お世話になります。増々の御健勝をお祈り申し上げます。今後共御指導お願い致します。(〒167 関東)

◇渡 辺 力

仕事の方は、世界情勢と同じように、激動と多難の年でした。とりえといえどどうやら健康体ということでしょうか。お互いよい1990年でありますよう！(〒168 名誉会員)

◇香 川 顕 郎

明けましてお目出とう御座います。本年もよろしくお願い致します。血圧が少し高く、医者から注意されていますので自重します。皆様にくれぐれもよろしく。(〒187 名誉会員)

◇加 藤 昌 一

昨年末退院のため体調も悪く、目下通院中のため、欠席御諒承下さい。(〒202 名誉会員)

◇(株)ダニエル 久 保 雅 俊

毎度お世話になります。ずいぶんど無沙汰しております。今回交礼会社用につき欠席させていただきます。皆様によりしくお伝え下さい。(〒202 賛助会員)

◇吉田 ジュンコ

私事で恐縮ですが、当日転居日と重なり、残念な

ら欠席させていただきます。尚、住所及び連絡先、下記の通りです。

〒194 東京都町田市鶴間239-1-210

TEL 0427-99-3886

(〒228 関東)

◇小 坂 希八郎

明けましておめでとうございます。出張と重なり残念ながら出席できません。(〒232 関東)

◇豊 口 克 平

お目出度う。変革のきびしさが地球ぐるみに明示されてきた1990年。さあ、皆さんどうされますか。期待しています。(〒247 名誉会員)

◇山 品 元

弦楽四重奏による雰囲気は、新春にふさわしいものでしょう。ご盛会をお祈りします。欠席深謝。(〒251 関東)

◇高 柴 孝 子

去年11月末に下記住所に引越しをいたしました。

よろしくお願い致します。

千葉県八千代市八千代台北12-27-2

TEL 0474-86-6947

(〒276 関東)

◇但 田 孝 義

企業内デザイナーとして協会に所属することのメリットは何かあらためて考える。自ら協会活動に積極的に参画し得るものと思うが……。 (〒280 関東)

◇中 田 重 克

ホールも企画も楽しそうですが、どうしても都合がつかず残念ながら欠席させていただきます。90年代の皆様方のますますのご活躍をお祈りいたします。(〒289-06 関東)

◇西 沢 圭 三

皆さん明けましておめでとう御座います。本年も新しいJ I Dのパワーアップのため頑張りましょう。小生残念乍ら健康上の都合により欠席させて戴きます。(〒356 関東)

◇池 辺 武 彦

残念乍ら都合が着きません。1 / 15日付で西武退社しました。池辺デザイン研究室として自営の準備中でございます。尚、中央工学校の兼任講師も継続致します。(〒359 関東)

◇小 池 豊 治

交礼会のお誘いありがとうございます。年明早々欠席するのは恐縮ですが、新社屋落成準備の為、欠席させていただきます。尚、本年も御指導の程おねがい致します。（〒400 関東）

◇森 藤 幸 雄

地域密着型のデザイン業務の毎日にて中々各事業に参加出来ず残念に思います。昨年の中国視察中止は残念でした。又魅力有る企画を期待します。（〒421-12 関東）

◇本 間 純 一

本年もよろしくおねがい致します。（本音で語れるJ I Dであることを）尚、9,000円を持って20,000円で新幹線に乗って……東京中心の会であることには今年も変りないようですね。それでも入会希望者が2名もいます。書類を郵送されたし。（〒463 中部）

◇本 多 正 之

新年おめでとうございます。皆々様の本年の御健康をお祈りいたします。失礼。（〒465 中部）

◇緒 方 克 子

いつもご連絡いただきありがとうございます。会員ご紹介したい方がいますので書類お送り下さい。
勤務先を次のように訂正願います。
インテリアオフィス TAKENINE 代表
〒460 名古屋市中区丸の内1-11-33
ライオンズマンション丸の内 第5-1001
電話・FAX 052-201-0718
（〒467 中部）

◇林 寅 正

昨年は名古屋におけるデザイン展に大変お世話になり有難う存じました。厚く御礼申し上げます。私共の大学が《名古屋造形芸術大学》として産声をあげ、4月から開校します。推薦入試があるため欠席します。皆様によろしくおつたえ下さい。（〒486 中部）

◇植 田 益 夫

住所変更になっています。宜しくお願いします。
大阪市中央区島町2-4-7
鵜安井建築設計事務所 （〒540 関西）

◇藤 川 宏 允

今年も油画個展を開きます。14回になります。推せん文は山田洋次です。昨年はサトウサンペイでした。

両氏ともボン友です。（〒546 関西）

◇石 川 四 郎

新春を迎えられ益々の会員諸賢の御多幸を祈ります。
老生も元気に毎日を無事消光。恙なく86歳を迎えました。J I Dの益々の御発展と活躍を。出席された会員にご盛会を。会報に各支部近況を記載して下さい。（〒565 名誉会員）

◇樋 口 治

昨年は、3月に沖縄、4月にパリ、ミラノ、ローマ、5～6月に北京、天津（天安門にバッチリ）、秋に名古屋世界デザイン会議に約十数名の中国デザイナーを招待し、暮にバンコックと忙しい年でした。本年も宜敷く。（〒565 関西）

◇千 田 要 宗

新しい世紀に向って、ザワメキの新年を感じます。
インテリアに求められる欲求も、こゝ数年特にザワメキが大きくなりました。私達J I Dもこれにこたえる新たなザワメキが必要な時を迎える様に思います。（〒565 関西）

◇渡 邊 敏 雄

ブラジルのリオ・デ・ジャネイロでクリスマスと新年を迎えました。リオのフラメンゴ公園は広々として美しい花が咲き乱れ、コパカバーナ、イパネマの海岸は新しいデザインの高層ビルが立ち並び、海水浴客で賑っていました。サンパウロの中心地区は新しいビルがどんどん建築され、素晴らしい景観です。ブラジリカにはニューマイカーの最後の設計となった大統領記念館が完成していました。サンジョアンボスコ教会の紫のステンドグラスは幻想的な世界にさそい込まれる素晴らしいものでした。（〒573 関西）

◇金 子 誠之助

昨年度は創立30周年で各地区に於ての記念事業も終り、本年から新しい出発です。今後ともご指導の程お願いいたします。（〒591 関西）

◇夏 原 晃 子

昨年は30周年、デザイン博といろいろお世話になりました。皆様によろしくお伝え下さい。（〒596 関西）

◇伊 吹 弘

ある工事で現場監理の人に“スプリンクラーを2～3箇所移設して欲しいが費用はいくらぐらいか？”と

たずねたら、「金額は出るが、人手がないから駄目だ」との返事。このような状況が東京から関西の方へ押し寄せているこのごろです。（〒605 関西）

◇常 持 敦

本年も「インテリア・コンサルタント」として応分の仕事をしたいと念願しております。折にふれて皆様にお世話になりますが、何卒よろしくお願い申し上げます。（〒657 関西）

◇種 村 眞 吉

「成而弗居」最近の心境です。（〒659 関西）

◇上 辻 謹 一

昨秋9月27日より、11月8日まで脳梗塞のため入院。現在自宅にて療養中です。少し後遺症あるも順調に回復しております。（〒661 名誉会員）

◇矢 留 富 三

新年おめでとうございます。J I D 30周年記念事業も盛大裡に終わり、関係者ご一同様のご努力に深く感謝致します。生活環境のながれも大きく変わりつつあります。これに対応するデザインでありたいものです。（〒678 名誉会員）

◇新 居 猛

国際家具見本市では大変お世話になり有難うございました。本年もよろしくお願い申し上げます。（〒770 関西）

◇溝 口 新

J I Dの発展を祈っております。ゆとりの時代、J I Dも31年、社会への貢献が期待されるものと思います。本年も宜しくお願いします。（〒818 九州）

◇松 岡 宇 六

持病の心筋硬塞の為、出席できないのが残念です。皆様によろしく。（〒831 名誉会員）

◇中 西 美恵子

中西三郎生前中はいろいろと御世話に相成り厚く御礼申し上げます。

此の度、J I Dニュース7・12号に豊口克平先生の御弔詞賜り、掲載号を御送り頂きまして誠に有難く厚く御礼申し上げます。インテリアデザインに最後まで意欲を燃やし続けました主人にとりまして何より有難く早速仏前に報告させて頂きました。豊口先生に御ついでの折、何卒よろしく申し上げて下さいませ。

葬儀の折には御多忙中をわざわざ御参り頂き協会からも御丁寧なる御香典を賜り厚く御礼申し上げます。旧年末に七七忌の法要と納骨を主人の郷里、京都にて相営みました。同封のもの御供養の御しるしまでに心ばかり御届けさせて頂きます。

末筆ながら日本インテリアデザイナー協会の益々の御発展を御祈り申し上げます。皆様によろしく。

先ずは御礼と御願ひまで。

（名誉会員故中西三郎氏夫人）

新入会員の紹介

●新入会員

（正 会 員）

会 員 名 及 号 番		住 所 及 電 話
しの はら ひろ ふみ 篠 原 博 文 （会員番号 803） 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	株式会社西武百貨店 生産事業部建築推進部環境設計 東京都豊島区南池袋1-16-22 〒170 TEL 03-987-8383 FAX 03-983-5124 神奈川県川崎市多摩区東三田1-2-17-304 〒214 TEL 03-922-7031 中 村 圭 介 ・ 関 口 英 子

みのよしあき 美濃吉昭 (会員番号 804) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	大成建設株式会社大阪支店 大阪市中央区北浜 3-7-12 東京建物大阪ビル 〒541 TEL 06-203-1131 (内線 2450) FAX 06-203-1135 大阪府松原市小川町 9-24 〒580 TEL 0723-32-9549 川崎 浩・富田卓司
ふくざわゆうじ 福沢雄二 (会員番号 805) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	FUKUZAWA DESIGN OFFICE 東京都渋谷区神宮前 2-31-21 早川マンション 301 〒150 TEL 03-479-3095 FAX 03-479-4507 東京都世田谷区弦巻 3-8-12-501 〒154 TEL 03-427-5474 岩倉 榮利・根本 恵司
ふじたしんいちろう 藤田 信一郎 (会員番号 806) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	株式会社フォルムインターナショナル 東京都港区赤坂 8-8-7 〒107 TEL 03-423-0061 FAX 03-479-7231 東京都港区赤坂 8-8-7 赤坂ハイム 1 階 〒107 TEL 03-423-0096 奥村 考晟・森谷 延周
まえだかつみ 前田 捷美 (会員番号 807) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	有限会社一級建築士事務所タツミスタジオ 大阪市東淀川区東中島 1-21-2 新大阪ハイツ 305 号 〒533 TEL 06-326-0621 (切替) FAX 06-326-0621 兵庫県芦屋市楠町 12-20-607 〒659 TEL 0797-31-7031 藤川 宏允・川崎 浩

●新入会員

(賛助会員)

会 員 名		住 所 , 電 話 及 び 担 当 者
株式会社 ナショナルトレーディング	住 所	東京都港区南麻布4-5-2 〒106 TEL 03-442-4791 FAX 03-447-4048
	担 当 者 紹 介 者	取締役 藤 原 秀 典 斉 藤 武 行
ハンターダグラス ウインドウファッショ ン株式会社	住 所	東京都中央区新川2-8-10 第1中村ビル7F 〒104 TEL 03-551-5008 FAX 03-551-2209
	担 当 者 紹 介 者	常務取締役 広 瀬 俊 明 渡 辺 優

●寄贈図書 (・印寄贈者)

	書 (誌) 名	月 日	備 考
・朝倉書店	技術シリーズ インテリアデザイン	'89 11. 30	
・(社) 日本グラフィックデザイナー協会	年鑑 日本のグラフィックデザイン1989	12. 8	
・世界デザイン会議運営会	日本のポスター史	12. 12	
・(社) 東京建築士会	東京建築士会会員名簿1990(平成2年度)	〃	
・(株) 日本店装新聞社	全国商業施設業会名鑑	〃	
・(社) 日本銅センター	「25年の歩み」	'90 1. 8	
・日本写真家協会	JPS 会員名簿'90～'91	〃	
・東京室内装飾事業協同組合	組合創立30周年記念誌 「インテリア業界の変遷」	1. 16	
・(社) 日本ディスプレイ業団体連合会	1989年度版 ディスプレイ 連合会名簿	1. 29	

●会員の異動

(正 会 員)

会 員 名	異 動 事 項	新
片 柳 和 男 (関 東 P75)	事務所・自宅住所	東京都荒川区南千住8-5-7 〒116 TEL 03-803-1977
小 玉 靖 子 (関 東 P88)	事 務 所 開 設	株式会社 小玉靖子スペーススタジオ <オフィス> 東京都渋谷区代々木2-27-16 ハイシティ代々木201 〒151 TEL 03-375-2056 FAX 03-379-8678 <本 社> 神奈川県横浜市緑区桜台4-17 〒227 TEL 045-983-5792 FAX 045-984-3102
李 泰 久 (関 東 P155)	自 宅 住 所	東京都大田区田園調布本町34-16-301 〒145 TEL 03-721-6426
前 原 紀 雄 (関東 新入会員)	事 務 所 移 転	東京都港区西新橋2-19-5 カザマビル6F 〒105
千 年 小 枝 子 (関 東 P111)	自 宅 住 所	神奈川県座間市東原3-3-19-103 〒228 TEL 0462-55-0939
大 阪 克 彦 (関 東 P66)	自 宅 住 所	札幌市中央区宮の森2条4丁目2-26 〒064
緒 方 克 子 (中部 新入会員)	事 務 所 開 設	INTERIOR OFFICE Take Nine (インテリア・オフィス・テイク・ナイン) 愛知県名古屋市中区丸の内1-11-33 ライオンズマンション丸の内 第5-1001 〒460 TEL・FAX 052-201-0718
嶋 佐 知 子 (関 東 P95)	事務所住居表示変更	東京都練馬区豊玉北5-16-12
高 木 敦 子 (関 東 P104)	事 務 所 移 転	東京都文京区目白台1-24-8 TEL 03-942-0758

當 山 建 道 (関 東 P114)	事 務 所 移 転	東京都港区麻布十番2-21-14 ライオンズマンション麻布コート301号 〒106 TEL 03-453-1604 FAX 03-453-5708
池 辺 武 彦 (関 東 P52)	勤 務 先	退 職
高 柴 孝 子 (関 東 P104)	自 宅 住 所	千葉県八千代市八千代台北12-27-2 〒276 TEL 0474-86-6947
吉 田 ジュンコ (関 東 P170)	事務所・自宅住所	東京都町田市鶴間239-1-210 〒194 TEL 0427-99-3886
式 田 完 (関 西 P196)	自 宅 住 所	奈良市西登美ヶ丘2-2-15 〒631 TEL 0742-47-9866 FAX 0742-47-9868
並 川 拓 史 (関 西 P203)	ア ト リ エ	大阪府豊中市寺内1-11-16 緑地ビル305 〒560 TEL 06-865-0868
岩 谷 雅 史 (関 西 P184)	会 社 名 変 更 住 所 移 転 新ショールーム開設	有限会社 キュービック 徳島市沖浜町北川730 〒770 TEL 0886-25-8351 FAX 0886-54-6280
須 藤 玲 子 (関 東 P102)	自 宅 住 所	東京都港区白金台3-12-4-304 〒108
植 田 益 夫 (関 西 P185)	事務所住所変更	大阪市中央区島町2-4-7 〒540
西小路 典 子 (関西 新入会員)	事 務 所 名	ARI DESIGN SYSTEM (アリ・デザイン・システム)
岸 田 勝 (関 東 P80)	勤 務 先 変 更	株式会社 アクタス 東京都渋谷区渋谷2-1-13 〒150 TEL 03-499-0651

●会員の異動

(賛助会員)

会 員 名	異 動 事 項	新
株式会社ホウトク (賛 助 P 310)	担 当 者 勤 務 地 移 転 役 職	小牧本社 愛知県小牧市上末字東山 3509-190 〒485 TEL 0568-79-3285 (内線 325) FAX 0568-79-0441 取締役 開発担当部長

●訂正とお詫び

J I Dニュース前号(1989・11・12)の異動欄中、下記の社名に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

会 員 名	異 動 事 項	新(正)
高 田 紀久枝 (関 東 P 105)	事 務 所	KIKU インテリア・アート 東京都世田谷区上馬 2-27-10-105 〒154 TEL 03-422-5503 FAX 03-422-5887

賛助会員ニュース

◇テキスタイル飯田

「'90アトモスフィア展」

期日：4月11日(水)～13日(金)

時間：10時～17時30分

場所：テキスタイル飯田ショールーム

(東京都渋谷区元代々木1-1)

TEL 03-465-5001

より深く、ロマンティックになった'90ヨーロッパ各社の新作発表と、布が主役を演じるインテリアデザイン、それを形造る技術を御紹介致します。

是非、当ショールームで真物の良さを体感して下さい。

高 畑 発 条 工 業 (株) 東大阪市横沼町3-3-7 〒577 (06)722-8501～5 FAX(06)723-0312 高畑雅彦(管理部商品課課長)	(株) 竹 中 工 務 店 東 京 本 店 東京都中央区銀座8-21-1 〒104 (03)542-7100 角幡 進(設計部副部長)
(株) 竹 中 工 務 店 大 阪 本 店 大阪市東区本町4-27 〒541 (06)252-1201(内3350) 中馬宗武(意匠担当副部長)	(株) ダ ス キ ン 大阪市大淀区中津1丁目6-28 〒531 ホークビル4F (06)372-8771(大代) 澤山裕恵(愛の店事業本部・商品開発部)
立 川 ブ ラ イ ン ド 工 業 (株) 東京都渋谷区代々木4-30-7 〒151 (03)375-111 石原弘道(販促部部長)	(株) ダ ニ エ ル 神奈川県横浜市西区岡野2-17-18 〒220 (045)311-4001(代) 久保雅俊(本社 企画室)

中央設備エンジニアリング(株)

愛知県名古屋市中村区名駅1-2-4 〒450
(名鉄バスターミナルビル10F)
(052)582-8201 平田 満(インテリア部部长)

(株) テキスタイル 飯田

東京都渋谷区元代々木町1-1 〒151
(03)-465-5001 飯田安子(代表取締役)

(株) 天 童 木 工

東京支店：東京都港区浜松町1-19-2 〒105
(03)432-0401 桜井久喜(技術部商品開発課課長)

東 京 シ ン コ ー ル (株)

東京都荒川区東日暮里4-12-1 〒116
(03)802-3211 中根 修(企画部デザイン室室長)

東京デザイナー学院名古屋校

事務局：愛知県名古屋市中区栄4-16-23 〒460
(052)262-0766 富田光政(事務長)

(株) ナ イ キ 東 京

東京都千代田区岩本町1-10-6 〒101
TMMビル8F
(03)864-9610 深瀬邦夫(スペースデザインセンター)

ト ー ソ ー (株)

東京都中央区新川1-4-9 〒104
(03)552-1211 大谷文行(商品開発本部部長)

東 陶 機 器 (株)

東京都港区赤坂2-8-3 赤坂長谷川ビル3F 〒107
(03)595-9515
小林一郎(デザイン部次長兼デザイン課長)

事務局短針

- ① 1990年の幕明けは、次期役員選挙から始まり、月末には理事会、新春交礼会と続きました。J I D 30事業も昨年終り、今年は新しい時代の幕明けになると思います。事務局も新しい目標に向かって前進したいと思いますのでよろしくお願いいたします。
- ② 前号でお願いした本部事務局の移転先が急に決まり、3月早々引越すことになりました。新事務所は広さも現在と変わらないので会議は5～6名が限度かと思いますが、駅からも近く、窓外は桜がきれいだそうです。新生J I Dにふさわしい事務所になるよう努力いたしますので、会員の皆様もお気軽にお立ち寄り下さい。

なお、会議室(10～20名)を貸して頂ける方、またはご存知の方は、事務局へご一報頂きたく、よろしくお願いいたします。

- ③ 協会設立にご尽力された野口茂氏、加藤昌一氏が相次いで亡くなりました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
- ④ 毎度のお願いですが、会費未納の方、年度末となり財政も急迫しています。大至急納入して下さい。
- ⑤ J I D本部事務局へのご連絡
3月5日より下記へお願いします。
住所 東京都渋谷区恵比寿南2-13-14
茶屋坂T&Kビル3F 〒150
電話番号 03-5704-3421(代)
FAX 03-5704-3423

1990/1・2

頒価 300 円(送料共)

1990年2月9日発行

(日本インテリアデザイナー協会月報 1990年通巻第160号)

発行・社団法人 日本インテリアデザイナー協会事務局

印刷所・(社福)コロニー印刷

東京都渋谷区恵比寿南2-13-14 茶屋坂下T&Kビル3F

☎ 03-5704-3421(代)

振 替・東京 8-76389